

第11回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日時 : 平成26年 6月 27日(金) 14時00分~16時10分

場所 : 電気学会 第4・第5会議室

出席者 : 大西委員長, 栗原副委員長, 福永委員(A部門長), 福井委員(B部門長), 佐藤委員(B部門代表), 泉井委員(C部門代表), 松井委員(C部門代表), 瀬戸委員(2号委員), 餘利野委員(2号委員), 新藤前委員(前A部門長), 福本前委員(前C部門長), 福澤様(C部門, オブザーバ), 桂幹事(敬称略), 以上13名

配付資料

- 資料11-0 第11回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料11-1 第10回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料11-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料11-3 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」委員推薦状況
- 資料11-4-1 「サイバーセキュリティ特別調査専門委員会」委員推薦状況
- 資料11-4-2 「Cyber-Physical Systems Security 特別調査専門委員会」設置趣意書(案)
- 資料11-4-3 Cyber-Physical Systems Security 特別調査専門委員会の対象範囲(案)
- 資料11-5-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」のご報告と、ご相談事項等
- 資料11-5-2 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」設置趣意書(案)
- 資料11-5-3 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」の事務的取り決め事項など(素案)
- 資料11-5-4 第1回「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」議事録(案)
- 資料11-6 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動状況報告

議事概要

1 開会挨拶

大西委員長より、開会にあたり挨拶があった。また、資料11-2の確認ならびに委員の自己紹介が行われた。

2 前回議事録の確認

資料11-1に基づき、平成26年3月20日に開催された第10回委員会の議事録(案)について確認を行い、承認された。

3 特別調査専門委員会の委員追加承認について

資料3-1に基づいて、「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」へ参画する委員の承認を行った。

- ・ 崎山一男先生(電気通信大学)
- ・ 市川紀充先生(工学院大学)

4 特別調査専門委員会の設置検討について

4-1 C部門（福本前委員）

資料11-4-1～11-4-3に基づき、「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」設置検討状況について説明があった。また、特別調査専門委員会幹事候補者の福澤様より、設置趣意書の内容に関して説明があり、設置の承認を行った。平成26年8月から活動開始予定。

（福本前委員）

活動内容についてオーバーラップする部分もあるが、それぞれの立場から議論する場になると良い。

（大西委員長）

多面的な考え方で前向きなセキュリティのあり方を示すことが重要と考えている。

（福本前委員）

将来的に活動内容が纏まった段階で電力会社の委員を追加して確認頂くようにしたい。

（栗原副委員長）

オープンな情報はどの程度あるのか。

（福澤様）

米国において原子力関連などについて参考になる標準規格などの情報が出ている。

（佐藤委員）

セキュリティレベルの規格化を行うのか。

（福澤様）

そこまで踏み込めると良い。

4-2 D部門（桂幹事代理報告）

部門役員会および部門研究調査運営委員会にて「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会（仮）」の設置検討を進めている。8月の部門役員会で承認後、9月上旬までに設置できるように進めていく。

（大西委員長）

オーバーラップはあるが、部門横断のコラボレーションがうまくいく事例となると考えている。

（福永委員）

故意でないノイズへの対策を扱っていて、A部門主導の特別調査専門委員会とうまく活動が補完できる。具体的なものへの影響が明らかになり、とても良い。

（栗原副委員長）

スマートファシリティとは何か。

（福井委員）

需要家内の電気設備を対象としていると聞いている。

（栗原副委員長）

スマートファシリティの言葉をもう一度検討頂きたい。需要家電気設備などはどうか。

4-3 E部門（桂幹事代理報告）

部門内において特別調査専門委員会の設置を検討している。

5 特別調査専門委員会からの報告

5-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」

資料11-5-1～11-5-4に基づき、活動状況について報告があった。意図的、非意図的およびレイヤについて議論を行った。

（大西委員長）

出てくる結論が一般的になれば良い。

（瀬戸委員）

防壁や計測方法などで一般化できる。

（泉井委員）

汎用サーバによって違いがあると思うが、規格はあるのか。

（瀬戸委員）

非意図的なものに対してのレベルであれば、規格がある。家庭用や工場などでの違いもある。単体の機器ごとではあるが。

（福本前委員）

宇宙線の影響については考えられているのか。

（瀬戸委員）

地上の機器については考えられていない。

（栗原副委員長）

「スマートグリッドにおける」とあるが、電力システムのことなのか。まずスマートグリッドの定義を明確にしたい。

（瀬戸委員）

対象はスマートグリッドに限定する必要はない。

（大西委員長）

スマートグリッドの中身をフレキシブルに考えて頂ければ良いのではないかと。

（福井委員）

構成員に非会員が多いので、会員になって頂きたい。

（福永委員）

活動期間中に入会して頂くようにしたい。

5-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」（餘利野委員）

資料11-6に基づき、活動状況について報告があった。

平成26年4月23日に開催された開催の第1回シンポジウムの報告があった。また、平成26年7月2日に第2回シンポジウムを開催予定である。餘利野委員長に講演頂く予定である。

以上

次回開催：第12回 委員会：平成26年 9月 30日（火）14時～16時 予定
自動車会館 1階 会議室